

地域づくり推進交付金活用事業

和田地区	令和6年度	交付金額：550,000円
取組み1 広報誌「わだのできごと」発行 和田地区地域づくり協議会(総務・広報部会) 主催		

(1) 目的

地区内のできごと・お知らせ・課題について情報発信することにより、地域への関心を高め、地域づくりを推進します。

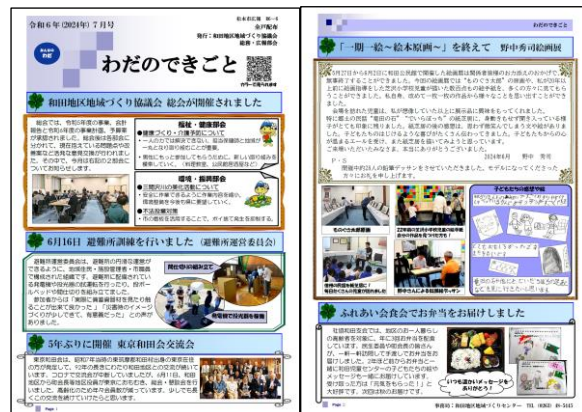
(2) 取組み

月1回発行

今年度は、各団体の事業、公民館や福祉ひろば事業への地域の皆さんが参加している様子や、参加した感想を多く掲載しました。

(3) 今後の展開

和田地区の情報をわかりやすく掲載することを心がけ、発行を続けていきます。



取組み2 健康講座・買い物支援 和田地区地域づくり協議会(福祉・健康部会) 主催		
--	--	--

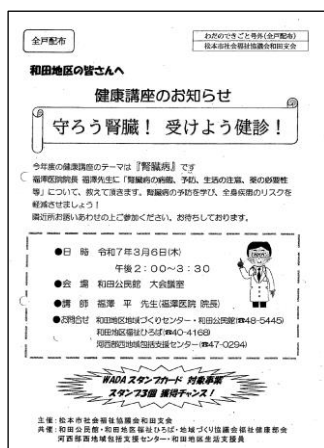
(1) 目的

地域住民が自ら学ぶことにより、健康意識の向上を図ることを目的に健康講座を開催しました。

また、「買い物に困っている。」「近くにお店がない。」などの高齢者の声を受け、買い物支援の一つとして移動販売を開始しました。

(2) 取組内容

普段から身近で親しみのある地域の医師を講師に迎え、腎臓病について健康講座を開催しました。



地域づくり協議会福祉健康部
会委員を中心とした住民有志で
検討し、令和5年度に引き続き移
動販売を実施しました。今年度は
地域住民の自家野菜を販売し、話
題作りや、地域への関心を深める
ことができました。



どちらの事業も住民の交流が図られ、生きがいや地域のきずなを
深めることにつながりました。

(3) 今後の展開

健康講座は誰もが参加できるような雰囲気づくり、ニーズに合っ
た講座内容を検討します。

買い物支援は工夫しながら継続していくとともに、自家野菜の販
売の種類を増やすことや、送迎などを検討し、さらに地域の交流の
場となるように発展させていきます。

取組み3 あいさつ運動

和田地区地域づくり協議会(子育て支援部会) 主催

(1) 目的

大人から子どもに声をかける「あいさつ運動」を推進しています。

あいさつをすることで、見守り活動とともに、子どもにとっても住み良

い地域にすることを目指しています。

(2) 取組内容

啓発推進リーフレットの作成と全戸配布(年1回)

今年度は松本市社会福祉協議会和田支会が実施している「ふれあい会食会」のお弁当に添えた児童センターの児童の絵手紙を掲載し、手に取っていただけるように工夫をしました。地域の高齢者への児童の思いを地域住民に知っていただき、地域全体で言葉を通したつながりのきっかけづくりになりました。

(3) 今後の展開

今後も推進活動を続けていきます。



取組み4 花卉栽培PR・環境整備事業

和田地区地域づくり協議会(環境・振興部会) 主催

(1) 目的

地区特産である花卉栽培をPRしています。また、花のある地域として、環境整備(一級河川の三間沢川の河川敷清掃、花壇整備)を行い、環境と産業振興の向上を目指しています。

(2) 取組み

花卉のPR:地区特産の花の配付(町会、臨空工業団地等 の企業)
公民館や運動広場など、公共施設の敷地の花壇は、地づくりセンター職員や町会長で管理しています。

河川敷環境美化作業:町会ごとエリア分け分担し、機材を使った作業を実施。河川敷法面の急斜面での作業で、危険で重労働です。



(3) 今後の展開

和田地区は花卉栽培が盛んであり、農業振興や景観等を考慮し、今後も地区特産の花卉のPRを検討していきます。

河川敷の環境美化作業は危険を伴う重労働で、高齢化が進む中、町会の負担も大変大きいです。しかしながら、地域にとっては重要で必要な作業ですので、町会への財政的支援を含め、今後も無理のない範囲で続けていけるよう検討していきます。

取組み5 指定避難所整備事業

和田地区地域づくり協議会(防災・安全部会) 主催

(1) 目的

指定避難所に必要な防災備品をあらかじめ整備しておくことにより、災害発生時の避難環境をより良いものとし、避難者の健康悪化を防ぎます。

(2) 取組み

指定避難所に暖房機器(ジェットヒーター)、ポータブル発電機、備蓄用トイレットペーパーを整備しました。

(4) 今後の展開

避難所運営訓練を行う中で、災害時に何が必要かを検討。必要な備品を整備し、災害に備えていきます。



取組み6 ボッチャ普及促進事業

和田地区地域づくり協議会(文化・教養部会) 主催

(1) 目的

ボッチャは誰もが負担なく行うことができるため、参加しやすく、住民の交流に有効です。ボッチャ用具を購入することにより、気軽にボッチャを楽しんできたき、普及を図るものです。

(2) 取組み

ボッチャ用具を購入し、地区関係団体や町会へ貸し出し、交流事業に利用しました。



(3) 今後の展開

地区広報紙で PR を行い、多くの住民の利用により、ボッチャを広め、地域住民の交流を深めていきます。